

令和5年度 第2回 学校運営協議会議事録

令和5年11月22日（水）15:30～ 本館2階 セミナールーム021

1. 開会

・副校長挨拶により開会

2. 校長挨拶（岩崎校長）

本校からの提案させていただき内容にご協議よろしくお願ひいたします。授業評価によって職員の授業改善が行われている。第三者評価において大学の2名の方のご意見をいただき、改善している。例えば、生徒の授業評価で改善したり、吉田島高校として専門性を発揮してほしい。第三者評価は今年度で終了だが、学校運営協議会に入り、これまでは指定された学校が受けるものだったが、来年度からすべての学校で行われることとなる。様々な意見を評議員からもらいたい。

修学旅行が無事終了。帰った後にインフルエンザが流行し2年次は年次閉鎖となった。11月3日は文化祭を無制限で開催できた。非常に充実した学校行事だった。

生活科学科では弥一芋の取組が評価された。また、生活科学科の研究で弘済会の奨励賞をいただいた。これからの家庭科教育のさらなる充実にあてる。

開校以来森林を維持管理してきた。今後の林業教育に前向きな時組が評価された。林野庁から表彰された。森林教育はこれからの日本に重要ということで評価された。本日は生徒職員の頑張りについてもご意見をいただきたい。

3. 委員紹介

・副校長より「吉田島高等学校運営協議会」名簿に沿って委員の紹介。

4. 協議

(1) 令和5年度学校評価目標

①教育課程、学習指導

(学事グループ：阿出川総括教諭)

教育課程について、昨年度末の評議委員会で総合学科時代のものが見受けられ、今後は専門学科の特色ある教育課程を進めてほしいとのご指摘があり進めてきた。各学科の編成案をより生徒にあった目標を実現できるように組み立てていくところにきている。細かい調整が必要だが、2月に令和7年度入学生徒用に向けて準備している。

(企画情報グループ：露木総括教諭)

OKJは吉田島高校ならではの授業ということで研究している。生徒による授業評価を行ってきた。教科ごとに集計してあるが、第三者評価での助言を受けこれまで教科の集

計のみ行っていたものをクラスごとにグラフで示すようにした。年次が上がるごとに改善されていくことが読み取れる。1年次生はまだわからないことも多いのではないかと見受けられるが3年生は改善が見られる。今後各教科で授業の検討をしていく。

(生徒活動グループ：高梨総括教諭)

今年度は生徒が主体となって行事を運営してきた。生徒が決めたルールを生徒皆が守りながら実施した。地域のたくさんの方に見ていただくとともに、多くの方にお越しいただきありがとうございました。これからスポーツ大会などもあるので生徒とともに行事を進めていきたい。

②生徒指導・支援

(生徒活動支援グループ：小澤総括教諭)

指導内規や規則の見直しをおこなった。昨年度は指導案件も多く見直すこととした。今年度からSC、SSWが週1回来校するようになり、連携を取りながらやってきた。指導案件もあったが中間報告として来年度に向けて学校の規則が適切であったか見直しもしている。学校から課題を与えるだけでなく、生徒が自分のしたことを振り返られるように指導をおこなった。また、面談が希望通り入るように調整もしている。昨年より落ち着いているが1件ごとに案件が重くなっている。

③進路指導・支援

(キャリアグループ：片山総括教諭)

一人ひとりが自分を見つめ進路を決めていく。1・2年次はガイダンスを行い、進路を考えるきっかけとなっている。1年生は自分で調べて掲示をしている。3年生になると履歴書を書く場面にあたるがそこで自分のことを言葉にできない生徒もいる。自分の考えや意見を文章にできない生徒も課題であり1・2年次からの指導が大切。インターンシップは昨年の反省から昨年は3名の参加だったが今年度は28人行った。職業理解に繋がって有意義だった。今後も推進していく。頭髪をしっかりと黒くする、長い髪は束ねてほしいとの先方からのお願いについて生徒が嫌がった例もあり、申し込みの段階から生徒と企業の意味確認をしていきたい。

(井上委員)

インターンシップは希望制か。

(片山総括教諭)

希望制で多くの生徒が体験を希望した。

④地域などとの協働

(専門教育・広報グループ：小野総括教諭)

学校の情報発信としてHPやXで定期的な情報発信を目標としている。タイムリーな

更新はできていないが HP の充実として部活動のページをより具体的に顧問からのコメントや活動状況などを記載するようにした。生徒会、農業クラブのページがあるが、家庭クラブの活動ページについて新たに作成し載せていく。年度内の更新を目指したい。

各専門授業の中では専門機関と連携した学びを実施している。各科 12 回程度実施できている。昨年度と同じでなく、よりよくなるように先方と協議して実施をはかっている。引き続き専門的な実習を行っていく。

(井上委員)

開成町として先生方にご協力ご支援いただいている。感謝申し上げます。本日も開成幼稚園で体験授業があった。今後ともよろしく願いいたします。

⑤学校管理、学校運営

(管理グループ：菊池総括教諭)

学校管理では開成町との防災担当者と打ち合わせをもって協定書の内容について話を共有することが出来た。今後は新しい協定書を結ぶことについて担当同士で協議が進んでいる。安全点検について、ある程度危険な箇所について昨年度から整備が進んだ。一部床がはがれていたりするところを進めていく。

全体を通しての質疑

(熊沢委員)

教職員の臨任が多く専門教育ができないと思う。産体育休は仕方ないが、適した教員がいないのか、希望者がいないのか、どのような状況があるのか。

(岩崎校長)

全県的に教員不足が深刻であり、とくに農業と家庭は教員免許を取得する学生が少ない。農業は全国で 401 名が免許を取得したが、実際は民間に就職したりしている。教員の待遇面や教員の魅力が低下している。教員採用の応募者もすべての教科で減っている。本校農業では産体育休の教員の代替がない、家庭科では 2 名不足している。11 月からようやく 1 名見つかったが状況は厳しい。英語においても産体育休の代替がない。深刻な部分である。家庭においては県内で臨任の登録者がおらず、文科省から教員免許の資格要件を緩和したり改善に向けた対応が必要である。

6 報告事項

(1) 各年次より生徒の様子

1 年次チーフ 小野総括教諭

入学当初 123 名入学、現在 118 名、5 名進路変更。本校の学びにあっていなかった、進学より就職がしたいといった理由で進路変更している。前期で赤点だった生徒も 20 名弱いる状況。その生徒たちが年度末で評定「2」以上がつくように支援していく必要

がある。生徒相談についてはケース会議を開きながら対応している。だんだん落ち着いてきた様子もあるが間延びしている様子もある。引き続きサポートしていく。

2年次チーフ 小澤総括教諭

クラス替えがあり各専門学科のクラスとなっている。1組都市農業科、2組食品加工科、3組環境緑地科、4組生活科学科と編成されている。専門教科が増えてより専門性が高まり楽しく過ごしている生徒もいる反面、ついていけず進路変更する生徒もいる。修学旅行や文化祭で作ったものを販売したり各科の特性を生かしていた。北海道との交流もありチーズを使ったピザを販売したりと、得たものを地域に還元している。落ち着きが出てきて進路に向けて意欲的に学習している生徒も多い。方向性を見失っている生徒もいるが、自分の将来を思い描けない生徒は進学をするのか就職をするのか見えていない。

3年次チーフ 片山総括教諭

最終年次ということもあり辞めた生徒は1名だけ。進路に向けて頑張っているが決まらない生徒もいる。昨年までと比べて進路がきまった途端さぼる生徒もいたが今年は少ない印象。卒業に向けてしっかり卒業できるまで支援したい。就職は40名ほど希望しており26名決まっている。活動中の生徒が5名。残り10名ほど活動するのかしないのか決まっていない状態。自信がなくて動けない生徒もいる。そういう生徒はハローワークと連携し支援している。

(山口委員)

学校の中学校の体験授業について、参加率はどうか知りたい。中学の時から進路を考えて高校を選んでいる子もいる。実際に入ってみて違うのは仕方ないが、今後専門高校が少なくなってしまうときに入ってよかったと思える学校になるよう、また中学生に選んでもらえるような学校であってほしいとの思いから、次回の資料に載せてほしい。この先どうやっているのか模索していきたい。

(小野総括教諭)

今年度の説明会や体験入学、8月の説明会では160組ほどの参加、10月11日の1日体験入学は1回目106組、2回目78組参加と例年より若干少ない。今年から広報を担当しているが、中学生への周知として全公立展、地区の公立展が実施されている。小田原市の中体連の試合と重なり小田原市の中学生の参加が少なかった。来年度以降の課題として情報発信していきたい。中学生はHPよりSNSをよく見る。来年度はその辺も活用していきたい。

(岩崎校長)

キャリア教育の現状として進路を決められない生徒もいる。離職率5割、中卒7割、高卒5割、大卒3割の離職率だが、就職して思ったのと違ったというミスマッチ。3年間の学びの中で専門教育として形になるのが理想だが、自分が入った学科と思ったのと違ったという生徒もいる。農業高校だということを知らない生徒もいた。学校の種類を理解していない中学生も見受けられる。学校には全日、定時、通信制がある。自分の適性や進路にあった学校選び、普通科なのか専門学科なのかよく考えて進学してほしい。高校の種類や学ぶ内容、どのような進路があるのか中学生に浸透させたい。学校の種類も多い。大井高校はクリエイティブスクール。本校にも学習に遅れのある生徒がいる。なぜ入学したか問うと親に言われたから、友達と同じ学校という。その状況の中で吉田島高校で学びたいという意識があるか不安もある。吉田島の魅力があって勉強したいという気持ちを持たせられるようPRしていきたい。

7 その他

(1) 令和5年度コミュニティスクール説明会への参加について

(中川副校長)

来週の木曜日までにコミュニティスクールの動画1と動画2をご覧になってアンケートの回答にご協力していただけるとありがたい。具体的なものは3月にくる。今年度最後の評議会にて配布して説明する。

(鳥海委員)

校歌祭に参加した。卒業生が出ただけでなく、生徒も参加していた。つながりができて良かった。次もぜひ生徒を出してほしい。

8 閉会

次回開催予定

3月8日(金)15:00～